

DPI（障害者インターナショナル）北海道ブロック会議設立趣意書 ～DPI 札幌大会の成果を引き継ぎ、北海道の当事者運動につなげるために～

2002年10月に札幌で開催した第6回DPI世界会議札幌大会（以下、札幌大会）は、110の国と地域から3,113名の参加者を迎え、延べ3,300名の市民ボランティアと多くの様々な団体や個人の協力を得て開催することができました。

そして、国、民族、宗教そして障害の多様さなど、様々な違いを超えて障害者の「完全参加と平等」を実現するための活発な意見や情報の交換、そして、交流を行ない、成功のうちに札幌大会を閉会することができました。

私たちはこの大会を通じて、世界の様々な障害者の現状と課題から、そうした状況を解決するためには、障害者の権利の確立が世界規模で必要とされていることをあらためて認識しました。

それは、札幌宣言で示されたように、具体的なものとして、国際的には、「障害者権利条約」を、国内的には、「障害者差別禁止法」の制定を障害当事者自身の声と運動によりつくりあげることの必要性も認識しました。

しかし、障害者の権利確立を宣言し終了した札幌大会の翌年の1月に、社会福祉基礎構造改革として、厚生労働省が示した支援費制度の内容に対して全国の障害者は、怒りと不安の声を上げました。重度障害者の地域生活の基盤を奪おうとした内容に対して、日本全国の障害者は、連日にわたり、厚生労働省に集合し抗議行動を展開しました。不十分ながらも一定の成果を挙げたこの行動は、札幌大会が障害者運動のゴールではなく、新たなスタートであることを私たちに示すとともに、障害当事者自身が声をあげ行動をしなければ、障害者の権利の確立と尊厳が守られないことを示すものでもありました。

私たちはどのような時代、どのような環境の下でも、障害者の人権の確立、人としての尊厳の確保、そして、当たりまえの生活ができるような生活基盤と環境の整備を進めなければなりません。

そのためには、障害当事者運動が結束を固め、より確かな力量を身につけなければならないと考えます。

私たちは、札幌大会の成果をより大きく発展させるために、また、道内の障害者運動の行動と連帯を強め、障害者の権利を確立する当事者運動の中心軸としての役割を果たしていくために、「DPI北海道ブロック会議」の必要性を感じています。

私たちは、札幌大会の開催趣意書などの中で「大会までに何をつくり、大会後に何を残すのか?」、「大会の真の成功と開催した意義は、歴史が評価する。」そして、「大会を単なるイベントには、終わらせたくない。」と語ってきました。

大会テーマである「すべての障壁を取り除き、違いと権利を祝おう」。スローガンである「なくそうバリアふやそう心のバリアフリー」を現実のものとするために、私たちは、DPIの旗のもと、新たな運動をここにスタートします。

2003年9月27日

DPI 北海道ブロック会議設立発起人一同

発起人名簿

発起人代表 神 田 直 也 (社団法人札幌市身体障害者福祉協会会長)
発 起 人 赤 坂 勝 (社団法人北海道身体障害者福祉協会会長)
浅 香 博 文 (社団法人札幌市身体障害者福祉協会事務局次長)
阿 部 史 郎 (北海道青い芝の会会長)
今 田 雅 子 (北のポリオの会会長)
太 田 隆 男 (精神障害回復者社会参加促進協会事務局長／社会参加共同作業所)
小山内 美智子 (札幌いちご会会長)
小 田 隆 (財団法人北海道難病連代表理事)
金 田 正 (社団法人日本オストミー協会札幌支部支部長)
川 見 俊 男 (NPO 法人札幌市肢体障害者協会理事長)
香 西 和 則 (釧路在宅障害者の会)
小 谷 晴 子 (NPO 法人札幌アシストセンター・マザー理事長)
斉 藤 績 (社団法人札幌市視覚障害者福祉協会会長)
佐 藤 勝 美 (北海道盲導犬協会視覚障害仲間会会長)
佐 藤 喜美代 (NPO 法人自立生活センターさっぽろ理事長)
佐 藤 正 尋 (全国公的介護保障要求者組合北海道支部代表)
高 橋 幸 子 (札幌市中途難失聴者協会会長)
竹 田 保 (NPO 法人ホップ障害者地域生活支援センター代表理事)
谷 川 弘 治 (北海道失語症札幌支部「北の会」会長)
檀 上 輝 男 (喉頭摘出者福祉団体「北鈴会」札幌支部支部長)
土 井 正 三 (小規模作業所あしの会会長)
西 村 正 樹 (NPO 法人D P I 日本会議副議長)
幡 本 慎一郎 (北海道ストローク(脳卒中)友の会会長)
濱 田 勝 夫 (旭川障害者問題を考える会)
本 間 秀 行 (全国インターネット患者会 iddm.21 会長)
松 野 正 勝 (日本心臓ペースメーカー友の会札幌支部相談役)
三 浦 正 春 (北風の会会長)
宮 下 高 (交通権を考える連絡協議会事務局長)
山 崎 多美子 (北海道精神障害者回復者クラブ連合会会長)
我 妻 武 (障害者情報誌メビウス代表)

(五十音順)